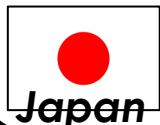


# 架け橋



JICA 海外協力隊 2021 年 1 次隊

ナミビア 小学校教育

ウサコス エロンゴサ小学校

川畑 舞



## 第 6 「ウイントフック」号

### 1、首都（ウイントフック）

今回は、ナミビア共和国の首都ウイントフックについてお伝えします。ウイントフック（Windhoek）とは、アフリカーンス語で風の曲がり道という意味です。地図上では、ちょうど国の真ん中あたりに位置しています。

首都には、大型のショッピングモールがいくつかあります。その中には、アパレルやスポーツ用品店、電気屋、雑貨屋、おもちゃ屋、文房具屋、家具屋、ATM、映画館、カフェなどすべて揃っています。また、近くに美味しいレストランがたくさんあり、ピザやパスタなどイタリア料理のみでなく、中国料理やタイ料理、ポルトガル料理、日本料理（お寿司）など何でも食べることができます。

日中、首都中心の交通量は多く、その約 7 割がトヨタやニッサンなど日本の中古車です。また、タクシーも約 30 秒に 1 度の頻度で通りかかり、電車ではなく、車が普及しています。移動中、窓の外を眺めると、高層ビルやカラフルな建物、教会などが目に入ります。その中でも特にドイツ系のキリスト教会と独立記念博物館は首都のランドマーク的存在となっています。

高層ビルと車の交通量



ドイツ系の教会



## 2、朝市（グリーンマーケット）

首都には、グリーンマーケットという土曜日の午前中のみ開く市場があります。そこには新鮮な野菜や手作りの食品、雑貨、小物などが安く売られています。

朝 7 時半になると地元の人たちが自分のお店を開き始めます。ただ、冬場は寒いので、朝一に行っても開いているお店は少なく、店員さんに「他のお店は？」と尋ねると、「みんなまだ家でコーヒーを飲んでいると思う。後から来るよ。」と言われました。

朝 8 時半頃になると続々とお店が開き始めました。この場所は観光客のみでなく、地元の人も訪れます。私はここでお土産用のクッションカバーと朝食用のブラウニーを買いました。ブラウニーは 1 つ 13N\$（日本円で約 110 円〈2022 年 6 月現在〉）と首都では安い価格になります。

グリーンマーケットの様子



雑貨屋さん



## 3、日本の中古車の輸入会社

首都には、Jan Japan（ジャン・ジャパン）という日本の中古車を輸入する会社があります。ナミビアの人たちは日本車をととても素晴らしいと言います。日本で一度乗られた車が海を渡り、遠いアフリカの国で大切に乘られていることを日本の子供たちに伝えたいと思いました。

ジャン・ジャパン

